

Funai Overseas Scholarship 交流会 i n New York (Aug. 2-4, 2013 )

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	フリガナ	所 属	研究テーマ	コメント
<b>【奨学生】</b>					
2010年度	梅谷信行 (東大)	ウメタニ ノブユキ	Autodesk Research (元コロンビア大学留学生)	コンピュータを使った創造的なモノづくり	二年前に東京大学からNYのコロンビア大学に一年間留学させていただきました。半年前に博士号を取得してから、現在カナダのトロントにあるAutodeskというソフトウェア会社で、Compute Graphicsや実時間シミュレーションを使った賢い設計環境について研究しています。URL: <a href="http://www-ui.is.s.u-tokyo.ac.jp/~ume/">http://www-ui.is.s.u-tokyo.ac.jp/~ume/</a>
2010年度	森口博貴 (東大)	モリグチ ヒロユキ	カーネギーメロン大学・博士研究員	ヒューマノイドロボットの行動計画制御・DARPA Robotics Challenge	2010/11に1年間留学プログラムでコーネル大学に留学させて頂きました。今年東大で博士号を取得し、4月からCMUにてDARPA Robotics Challengeのプロジェクトに参加しながら、ポスドクをしています。久しぶりにお会いする方も初めてお会いする方も、皆様とお話できるのを楽しみにしております。
2009年度	<a href="#">岩井孝介</a> (東大)	イワイ コウスケ	カリフォルニア大学バークレイ校 機械工学科	ポイント・オブ・ケア診断のための指駆動マイクロ流路システム	研究内容はマイクロ流路技術を用いた生物・医療分野への応用研究です。長いようで短かった博士課程も卒業が近づいていますが、この課程で培った知識や人脈を活かし、卒業後も生物・医療分野でマイクロ技術に基づいた研究開発を続けようと思います。
2010年度	吉本英樹 (東大)	ヨシモト ヒデアキ	Royal College of Art, Innovation Design Engineering学科、博士課程	Rhythm - An Alternative to Design Aliveness -	工学修士(航空宇宙工学)のバックグラウンドを持ちながら、英国の美術大学にてデザインの博士課程に留学しています。研究では、自然や生命からインスピレーションを得た「リズム」をプロダクトデザインの素材の一つとして提唱しており、そのコンセプトを、工学技術を使いながら具体化し、例示しています。また研究と並行して、自己のデザインブランドをロンドンにて立ち上げ、ミラノの展示会で展示をする等、活動を始めています。

Funai Overseas Scholarship 交流会 i n New York (Aug. 2-4, 2013 )

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	フリガナ	所 属	研究テーマ	コメント
2011年度	<u>岡本尚也</u> (慶大)	オカモト ナオ	University of Cambridge, Department of Physics.	半導体スピントロニクス	中学校からバレーボールをはじめ(一時サッカー部と兼部)、大学、大学院、そしてケンブリッジでも部活に所属して活動しています。その他、教育、地域活性に興味があり、研究活動以外に高校生に将来世界規模で活躍するキッカケを与える非営利団体、およびグローバルな地域活性を目指すNPO法人理事(申請中)の理事として活動しています。よろしくお願ひします。
2011年度	<u>方 弘毅</u> (東大)	ホウ コウキ	マサチューセッツ工科大学航空 宇宙工学専攻	宇宙物流アーキテクチャの最適化	宇宙システムの研究開発をしています。人類は宇宙に長い間夢を持ってきましたが、現実的な予算などの制約内で、どのようにすればより効率的に宇宙開発をできるのか、そのためにどのような技術が必要か、それらの技術を地上のプロジェクトにも役に立てないか、そんなことを考えています。
2011年度	<u>山本 薫</u> (京大)	ヤマモト カル	University of Cambridge, Department of Engineering, Control Group	Passive control, Network theory	第一印象でよく怖そうと言われます。確かに怒ると怖いかもしれませんが、ふだんは決して怖くない(と思います)ので、ぜひ怖がらずに話しかけてください。3日間しかありませんが、みなさんとたくさんお話したいと思います。
2012年度	<u>荒木 淳</u> (東大)	アラキ シユン	カーネギーメロン大学コン ピュータサイエンス学部言語技 術研究所 Language Technologies Institute of the School of Computer Science at Carnegie Mellon University	領域知識と言語知識を用いた照応関 係の同定とその応用 Coreference Resolution and Its Application using Domain and Linguistic Knowledge	私は日本で大学院修士課程を卒業し、社会人を経験した後、米国大学院の修士課程を修了し、現博士課程に所属しています。米国生活は4年ほどになります。交流会で皆さんにお会いできますことを楽しみにしています。
2012年度	<u>生駒勇人</u> (京大)	イクマ ユウジン	MIT Media Lab / Massachusetts Institute of Technology, Media Arts and Sciences	Computational Imaging / Hair Evaluation by Smartphone, Phase Imaging	MIT Media LabにてComputational Imagingの研究をしています。スポンサー企業であるブラジルの化粧品会社に支援を受けて、スマートフォンを用いた髪の毛の評価デバイスの研究開発をしています。

Funai Overseas Scholarship 交流会 i n New York (Aug. 2-4, 2013 )

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	フリガナ	所 属	研究テーマ	コメント
2012年度	潮田 佑 (東大)	ウシダ ユキ	シカゴ大学経済学研究科	研究テーマ未定（構造推定などに興味あり）	この夏は、経済学界ではわりとニッチな扱いのベイズ統計学や機械学習をかじってみようと思っています。また、これまで全く取り組んでこなかったプログラミングも勉強しなければ、と考えているところです。これらのことに詳しい方がいらっしゃいましたら是非お声かけください！くだらない話も大好きなので、皆さんと楽しくお話しできれば幸いです。
2012年度	佐藤徳之 (東北大)	サトウ トキキ	スタンフォード大学電子工学科	スピントロニクスデバイス・バイオセンサ	留学前に所属していた東北大では高周波磁気の研究をしていました。現在の研究テーマはどちらも磁気に関連するものです。来年夏にインターンをする予定なので、経験者の方のアドバイスを頂ければ嬉しいです。
2012年度	長野光希 (東工大)	カノ ヒロキ	University of Southern California, PhD program @Computer Science/ Institute for Creative Technologies, Graphics Lab	イメージベースド手法による写実的なコンピュータグラフィックス	USCでは、米国アカデミー賞科学技術部門受賞の指導教官率いるチームで、フォトリアルなコンピュータグラフィックスの研究開発を行っています。幼少より続けている剣道をアメリカでも続けています。
2012年度	西田祐木 (東大)	ニシダ ユキ	Carnegie Mellon University (Silicon Valley Campus), Information Networking Institute	Survivable Social Network (災害時向けのソーシャルネットワーキングサービス)	2012年夏からMSプログラムに所属しております。1年目はピッツバーグで過ごし、5月に2年目を過ごすシリコンバレーに引っ越しました。東西の違いを次第に感じる日々を過ごしています。
2012年度	畠山大輝 (東大)	ハタヤマ タキ	University of California, Berkeley / Department of Mechanical Engineering	グラフェン光変調器、非線形光導波路	この度はFOS奨学生、研究者の交流の場を設けて頂き有難うございます。現在の主な研究テーマは光導波路ですが、プラズモニクスやメタマテリアル、2次元材料等にも興味があります。留学は長く厳しいものですが、数少ない日本人同士で励まし合い、楽しんでいければと考えております。
2012年度	森 亮 (慶大)	モリ リョウ	カリフォルニア大学バークレー校	ダイヤモンド中の <sup>13</sup> Cスピンの低磁場における核磁気共鳴	ひょっこでゆとり世代ですがよろしくお願ひします。

# Funai Overseas Scholarship 交流会 i n New York (Aug. 2-4, 2013 )

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	フリガナ	所 属	研究テーマ	コメント
2012年度	<a href="#">山田倫大</a> (北大)	ヤマダ リンダイ	University of Oxford, Department of Computer Science	Computational (Game Semantic) Interpretation of Logic, Constructive Mathematics (Reverse Mathematics), Intentional Mathematics (Semantics of Computation)	オックスフォード大学計算機科学科の博士課程に所属しています山田倫大です。自分は数学者ですが、その哲学的思想と実際の応用の潜在能力に惹かれ、数学の中でも特に理論計算機科学を専攻として選びました。オックスフォード大学では、素晴らしい研究・教育環境、そして人々に恵まれました。今後とも努力を重ねていく次第ですので、どうぞよろしくお願い致します。
2013年度	<a href="#">猪爪宏彰</a> (東北大)	イノヅメ ヒロアキ	Carnegie Mellon University, the School of Computer Science, the Robotics Institute	未定	東北大学の航空宇宙工学専攻 修士卒の猪爪です。今年の秋からCMUでロボット工学の勉強・研究を行う予定です。よろしくお願い致します。
2013年度	大滝謙太 (東京理科大)	オオタキ ケンタ	University of California, Irvine Materials Science and Engineering	未定	9月半ばからのSchool Year開始に向けて、現在サマースクールに参加しています。9月からは、Martha Mecartney教授のもと、Mullite/Aluminaセラミックスに関する研究を行う予定です。
2013年度	<a href="#">重本祐樹</a> (立命館大)	シゲモト ユキ	University of Cambridge/Department of Engineering/Institute for Manufacturing	【デザインマネジメント】造形行為から人間の相互作用の調整まで広く網羅する「デザイン」という概念を整理、体系化しながら、それらの知見がものづくりに与える影響を研究しています。具体的には、デザインとは「モノの意味を与える」という定義に基づき、生活の中における「製品の意味」を消費者がどのように解釈・付与し、それがどのように市場や社会の中で伝播・共有されて行くのか探究中です。	バドミントン、ボート、料理、ファッション、ワイン、サックス、絵を描く事、甘いもの、お茶が好きです。よろしくお願い致します。
2013年度	<a href="#">篠原 肇</a> (慶大)	シノハラ ハジメ	University of Cambridge, Cavendish Laboratory, Department of Physics	リチウムイオン電池の電池性能向上に向けた物質：リチウム遷移金属酸化物の合成・評価	ケンブリッジ大学の産学連携プログラムであるWinton Program for Physics and Sustainabilityに日本人初で採用された。 趣味：バスケットボール バドミントン テニス ピアノ 料理

Funai Overseas Scholarship 交流会 i n New York (Aug. 2-4, 2013 )

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	フリガナ	所 属	研究テーマ	コメント
2013年度	中村拓磨 (東北大)	ナカムラ タカ	ジョージア工科大学航空宇宙工 学科博士課程	小型無人航空機(UAV)の制御	ジョージア工科大学の無人航空機研究所 (UAV Research Facility) に所属して制御の 研究をしています。空を飛ぶものが好きです。 休みの日にはラジコンヘリコプタを飛ばしたり 改造したり、プログラムを書き換えたりして います。あと正式なライセンスを持つパイ ロットです。セスナやパイパーの小型機が操 縦出来ます。学部生時代は鳥人間コンテスト に夢中になり、設計や製作を行いました。 2011年にパイロットとして出場して優勝し ました。よろしくお願いします。
2013年度	前田一輝 (東大)	マエダ カズキ	カリフォルニア工科大学機械工 学科	複雑媒質中のマルチスケール大規模 波動伝播解析及びその工学的応用	流体力学及び関連する学問(ソフトマター物 理学、計算力学)についての研究を志してお ります。共通する数理モデルを介した他分野 (光学、音響学、量子電磁力学)との共同研 究、及びマイクロ、ナノデバイスを用いた研 究成果の産業応用にも広く興味があります。 何卒よろしくお願い致します。
2011年 度/欠席	牛込陽介 (東大)	ウシグモ ヨシカ	Royal College of Art, Design Interactions MA	Speculative design for exploring the implication of leading-edge technology	ロンドンにて、テクノロジーが人間社会に及 ぼす意味について思索的なデザイン活動を行 なっています。誰もが想像力を使って、私た ちの未来について思いを馳せたり議論できた りするようにすることを目標にしています。
2013年 度/欠席	曾根 彬 (慶大)	ソネ アキラ	Massachusetts Institute of Technology /Department of Nuclear Science and Engineering/Quantum Engineering	(1) スピン錯を介した量子情報輸送 および量子もつれ生成 (2) ナノダイヤモンド内の窒素-空 孔中心を用いた高感度な弱磁気測定	様々な背景を持つ人々と切磋琢磨し、共存、 そして競争し合えるすばらしい環境の中で新 しいチャレンジが始まります。このMITでしっ かり影響力のある研究成果を残し、世界を リードしていける研究者になれるよう、ポジ ティブに頑張っていきます。

# Funai Overseas Scholarship 交流会 i n New York (Aug. 2-4, 2013 )

(敬称略)

年度	氏名/ 出身大学	フリガナ	所 属	研究テーマ	コメント
<b>【米国大学院学生会】</b>					
	小野雅裕	オノ マサヒロ	NASA Jet Propulsion Laboratory, California Institute of Technology	宇宙機やロボティック・システムの、リスクを考慮した最適化・最適制御	2012年にMITでPhDを取得し、慶應の助教を経て、今年5月より現職に就きました。また、船井財団のサポートのもとで留学支援活動を行っている「米国大学院学生会」の代表を務めています。元気の良い船井奨学生たちが世界のあちらこちらで頑張っている姿がとても頼もしいです。
	渋谷洋平	シバ ヲウヘイ	(ダートマス大学生化学科博士課程)	脳内コレステロール恒常性とアルツハイマー病の関係性を解明すること	米国大学院学生会の幹事として参加させていただきます。世界の名だたる大学に通われている方々とお会いできて、大変光栄です。よろしくお願ひします。
	新見有紀子	ニミ ユキコ	ボストンカレッジ大学院高等教育専攻博士課程	ビジティングスカラーの経験と頭脳循環、学生の留学を通じた成長について	私は米国大学院学生会で大学院留学説明会担当をしています。説明会開催に際しまして、船井情報科学振興財団様からの多大なるご支援、感謝申し上げます。私自身は、大学生の留学を通じた成長に学術的な興味を持っており、交流会では留学中の学生の皆様とお会いして、お話を伺えることも楽しみにしています。
<b>【招待者】</b>					
	根岸英一	ネギシ イイチ	H.C. Brown Distinguished Professor of Chemistry Purdue University / Department of Chemistry		
<b>【関係者】</b>					
	益田隆司	マダ タカシ	船井情報科学振興財団業務執行理事		
	船井 顯	フネイ アキラ	船井情報科学振興財団事務局長		
	岡田 讓二	オカダ ジョウジ	船井電機(株)取締役執行役員		
	阿賀野俊孝	アガノ トシタカ	船井電機(株)開発技術本部技師長		
	井上昭彦	イノウエ アキヒコ	船井電機(株)OS技術部主任技師		
	豊田孝様	トヨタ タカシ	船井電機(株)開発技術本部主任技師		
	大井秀雄	オオイ ヒデオ	船井電機(株)		